



ライブラリー

2023.9

《令和5年9月21日発行》

福崎町立図書館 図書館だより No. 109

福崎町西治360番地1 TEL. 0790-22-3790
http://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/library/

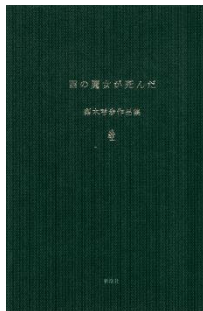


自然を感じる本

『西の魔女が死んだ』

(梨木香歩 著 新潮社 F/ナシ)

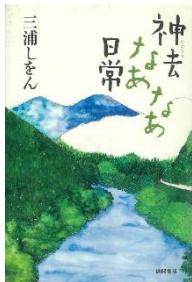
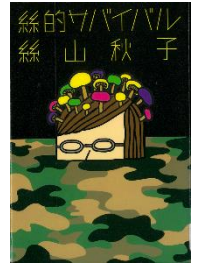
不登校になったまいは西の魔女と呼んでいる田舎のおばあちゃんのうちで過ごすこととなります。おばあちゃんのうちの庭にはたくさんの草花が咲き、裏庭には料理に使えるようにパセリ、山椒、月桂樹などが植えてあります。自然豊かな場所で魔女修行をしながら成長していくまいの姿やおばあちゃんの優しさに心があたたかくなります。



『絲的サバイバル』

(絲山秋子 著 講談社 914.6/イト)

思わず「一月に一回一人キャンプをする」と宣言した著者ですが、ゴリゴリのキャンプではなく地味でテンション低めが好み。町では味わえない一人を楽しむため今日も愛車のクーペでキャンプに向かいます。一人キャンプに興味をわくエッセイ本です。



『かむさり 神去なあなあ日常』

(三浦しおん 著 徳間書店 F/ミウ)

高校卒業後の進路が決まっていなかった勇氣は、母親と担任が決めてきた神去村での林業をすることに。広大な山での仕事は辛く大変で何度も逃げ出そうとしては失敗。しかし次第に山や自然に向き合っていく、ゆるい林業青春物語。



『たのしい路上園芸観察』

(村田あやこ 著 グラフィック社 627.8/ム)

町の中には行政によって整えられた緑以外に自生している緑、個人で育てている緑、意外にたくさんの草花があります。10年観察してきて著者はそれらを路上園芸と呼ぶことにしました。この本では住人たちによって育てられている緑を中心に紹介しています。知らない町の景色なのになんだか懐かしいと感じるものがたくさんあります。

図書館カレンダー

※行事・イベントは変更や中止になる可能性があります。

※ は休館日です。

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 えほんの じかん 11:00~	5 資料整理日	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21 おはなし会 11:00~
22	23	24	25	26	27	28 子ども映画会 14:00~
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1 えほんの じかん 11:00~	2 資料整理日	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18 おはなし会 11:00~
19	20	21	22	23	24	25 子ども映画会 14:00~
26	27	28	29	30		

図書館員おすすめ本

ペットはずっと元気で可愛いわけではありません。人と同じように年を取り、病気や認知症にもなります。ペットを最後まで看るといふことの大変さが分かる一冊です。きれいごとではすまないペットの介護、でもその大変さの中にも老犬のかわいらしさもあります。今ペットと一緒に暮らしている人も、これからお迎えする人も、覚悟をもつ心構えのためにぜひ読んでみてください。

『うちの犬が認知症になりました』

(今西乃子 著 青春出版社 645. 6/イ)



80年代に流行った少女漫画、ファンシーグッズ、お菓子など今の30代後半から40代の人がある当時の思い出を思い出し「懐かしい!」と声をだしたくなる物がたくさん載っています。今の10代の子達が見てもかわいい、エモいと思える物もたくさんあると思います。お気に入りだった物を探してみてください。

『ゆかしなものの '80s ガーリーカルチャーガイド』

(ゆかしなもん 著 グラフィック社 384. 5/コ)



こどものほん



1・2年生



3・4年生



5・6年生

としょかん・としょしつの本



『としょかんやさん』(水^{みづ}上^{かみ}悦^{えつ}子^こ え)



ニホンカモシカのカーモくんは、ふなはしととしょかんのおねえさんみたいになりたいと、としょかんやさんをはじめますが、うまくいきません。カーモくんはどうするかな?



『図書館のふしぎな時間』(たしろちさと 画)



ゆかりは国際子ども図書館におかあさんといっしょに行きました。そこで「すこしはものしり」という妖精に出会い、その妖精に図書館を案内してもらいます。ゆかりはメモをしながら図書館を見ていきます。実際にある図書館が舞台になっています。



『ねこの町の本屋さん』(小^こ手^て鞠^{まり}る^い 作)



本屋さんをひらいたクララさんですが、ヒマなまいにち。犬の村にある図書館が楽しいと聞きいってみることに。そこはゆうやけが見えた日だけひらく図書館でした。そこでクララさんは本のひみつを思い出します。



『図書室のふしぎな出会い』



(小^こ原^{はら} 麻^あ由^ゆ美^み 作)

足をケガして夏の間サッカーができなくなった勝は図書室の整理を手伝うことになり、そこで一人の女の子に出会います。そしてその女の子が探している本を一緒に探しますが・・・色々と考えさせられる一冊です。

「山口マオ」

① ② ③ ④



山口マオ作品集

イラストレーター、絵本作家として活躍している山口マオさんと言えば「マオ猫」。今回紹介する作品集にはマオ猫が登場してから現在までと、マオ猫が登場する前から幼少期までに分けて作品が載っています。絵本ではわにわにさんシリーズも人気なのでこちらの方が知っている人は多いかもしれませんが、マオ猫のなんともいえない顔、人間のような体、ちょっと不気味な雰囲気私は好きです。

『山口マオ作品集』

(山口マオ 画 玄光社 726. 5/ヤ)



『キャンドルナイト』

9月8日(金)にキャンドルナイトを行いました。たくさんの方に来ていただきました。ありがとうございます。キャンドルに火をつけ、ブラックベリーのさんのコンサートに耳を傾け、夜の涼しさに秋を感じることもできました。みなさんのおかげで楽しい時間を過ごすことができました。

